



大学院学生募集要項

美術研究科 博士後期課程

平成 **24** 年度

大学院美術研究科 博士後期課程
美術専攻



愛知県立芸術大学

Aichi Prefectural University of Fine Arts and Music

愛知県立芸術大学アドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また愛知が生んだ芸術文化の拠点として国際的に開かれた芸術文化の核となることを目指し、次の三つの理念をかかげます。

- 1) 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化にたずさわる優れた人材の育成を目指します。
- 2) 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指します。
- 3) 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指します。

その理念と目的に適う人材の育成のために、それぞれの専門分野にふさわしい資質をもつ次のような学生を求めています。

- 芸術を創作・研究する強い意志と感性を持ち、実技の基礎能力がある人。
- 美術界、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人。
- 広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人。

●美術研究科博士後期課程アドミッション・ポリシー

美術研究科博士後期課程は、美術・デザイン分野の高度な専門能力を有した人材に対し、さらに理論的分析能力、表現能力を与えることにより、自立して活動し得る芸術家・研究者や美術・デザイン分野における多様な社会的場において指導的・中核的役割を担うことができる人材を養成することを目的としています。

このため、本課程は、美術・デザインの高度な専門能力を有するほか、美術・デザイン分野の真に自立した研究者及び表現者となるべき豊かな素養と能力を備えた人材を広く学内外（留学生を含む）から受け入れます。

●美術研究科博士後期課程ディプロマ・ポリシー

美術研究科博士後期課程は、それぞれの研究領域でのより高度な卓越した芸術性や優れた専門性を追究し、作品制作能力の向上とともに、理論的構築に裏付けられた研究を評価の対象とします。博士後期課程委員会を構成する指導教員及び授業担当教員から様々な指導を受けられる体制をとっています。1年次から論文研究指導を受け、3年次において作品と論文、又は論文により学位審査を行い、合格した者に博士の学位を授与します。

博士後期課程学生募集要項

1 募集人員

専攻および募集人員

専攻	募集人員
美術	5 人

*美術専攻（日本画、油画、彫刻、デザイン、陶磁、芸術学の研究分野）を専門とする学生を募集します。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成 24 年 3 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 24 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 24 年 3 月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 24 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

注 1：出願資格(5)の文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）とは、大学を卒業し、又は外国において学校教育の 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

注 2：出願資格(2)～(6)に該当する者は、事前審査を行います。

該当者は、平成 23 年 11 月 11 日(金)までに事前審査書類を請求し、平成 23 年 11 月 25 日(金)までに提出してください

3 出願手続

- (1) 出願期間
平成 23 年 12 月 5 日(月)から 12 月 16 日(金)まで（午後 5 時までに郵便で**必着**とします。）
- (2) 願書の受付は「書留郵便」による郵送に限ります。
普通郵便及び直接持参は受理しません。
- (3) 封筒の表に必ず「美術研究科博士後期課程入学願書」と朱書してください。

4 出願書類

(1)、(4)、(6)、(7)、(8)については、本募集要項に綴じ込んである用紙を用いてください。

本学修了者及び本学修了見込みの者は、(2)、(3)の書類は不要です。

- (1) 入学願書
願書に記入する氏名は必ず戸籍と同一のものを記入してください。その他の提出書類についても同様です。各種証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本など変更が証明できる書類をあわせて提出してください。
- (2) 修士課程又は博士前期課程（以下、これを修士課程とのみ記す）修了（見込み）証明書
- (3) 修士課程成績証明書
出身大学長又は研究科長が作成したものを提出してください。なお、修了見込みの者は、成績及び単位取得見込み証明書を提出してください。

- (4) 写真 2枚 (縦4 cm×横3 cm)
正面、上半身、脱帽、出願前3か月以内に撮影した同一の写真を、受験者写真票及び受験票に貼付してください。
- (5) 受験許可書 (該当者のみ)
現在教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で服務義務のある者は、所属長の受験許可書を添付してください。(様式は随意)
- (6) 返信用封筒 1枚 (受験票等送付用)
自己の受信地住所、氏名、郵便番号を明記し、速達郵便料分(350円)の切手を貼付してください。
- (7) 入学検定料 30,000円
ア 入学検定料は、振込依頼書により必ず**金融機関の窓口**から入金してください。
ATMからは入金しないでください。
イ 検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼付けをしてください。
ウ 振込依頼書の「**ご依頼人**」欄は**受験生本人の氏名**を記入してください。
- (8) 研究計画書等
- 創作研究系(日本画、油画、彫刻、デザイン、陶磁)
- ・博士後期課程に関する研究計画書
 - *日本語(4,000字程度)によるものとします。
 - *所定の様式で提出してください。
 - ・デザインの研究分野で作品に代えて論文を提出する者は、修士論文(あるいはそれに代わる論文)
 - *いずれの場合も、2,000字程度の要旨を添付してください。
 - *その他に参考資料(論文等)がある場合は同時に提出してください。
 - *修士論文(あるいはそれに代わる論文)が日本語以外で執筆されている場合は、日本語訳要旨(2,000字程度)を添付してください。
- 理論研究系(芸術学)
- ・修士論文(あるいはそれに代わる論文)
 - *いずれの場合も、2,000字程度の要旨を添付してください。
 - *その他に参考資料(論文等)がある場合は同時に提出してください。
 - *修士論文(あるいはそれに代わる論文)が日本語以外で執筆されている場合は、日本語訳要旨(2,000字程度)を添付してください。
 - ・博士後期課程に関する研究計画書
 - *日本語(4,000字程度)によるものとします。
 - *所定の様式で提出してください。

※注意事項

- ア 既納の入学検定料は、還付しません。
- イ 提出書類の不備のものは、受理しません。
- ウ 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。
- エ 受験票は、入学手続の時まで大切に保管してください。
- オ 外国人留学生は、各出願書類の日本語訳を添付してください。
- カ 外国人留学生は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。

5 障がい有する等の入学志願者との事前相談について

本研究科に入学を志望する者で、障がい有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とするところがあるので、出願の前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

(1) 申し出の時期

平成23年11月11日（金）まで

(2) 申し出の方法

次の事項を記載し、学務課まで書面で申し出てください。

①志望分野 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項

④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項

なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。

(3) 相談の時期

平成23年11月25日（金）まで

(4) 相談の方法

相談申請書に医師の診断書（身体障害者手帳有する者はその写し）を添えて自己申告してください。必要に応じ、本研究科において志願者との面談等を行います。

6 出願書類・事前審査書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-114 (〒480-1194)
愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 学務課 入試・広報係
電話 0561-76-2603 (直通) (照会時間は午前9時から午後5時まで)
ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除きます。

7 試験内容

○創作研究系（日本画、油画、彫刻、デザイン、陶磁）

- ・提出作品（デザイン研究分野は作品又は修士論文、あるいはそれに代わる論文）
- ・作品ファイル
- ・小論文（日本語 1,200 字程度の論文）
- ・提出作品等及び研究計画書に関する口頭試問

○理論研究系（芸術学）

- ・提出論文
- ・語学試験（英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、日本古典語から1科目を選択。辞書持ち込み不可）
- ・提出論文等及び研究計画書に関する口頭試問

8 試験日程および試験場

志願者は、願書提出前に、研究分野の内容について、希望する研究指導教員と面談すること。

(1) 作品及び作品ファイルの提出（創作研究系のみ）

研究分野	提出日時	提出物・提出場所・提出方法・注意事項
日本画	平成 24 年 2 月 17 日（金） (9:00～16:00)	提出物：①日本画作品 100～150 号作品で合計 400 号程度、3～4 点。 *2 年以内に制作した作品に限る。 *ただし、模写・保存修復分野志望の場合は日本画作品 150 号 1 点及び模写作品 2 点、合計 3 点。 ②作品ファイル *A4 サイズとする。 *過去 4 年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。 提出場所：日本画会議室
油 画		提出物：①作品 5～10 点。 *206cm×100cm のドアから搬入可能な作品であること。 *2 年以内に制作した作品であること。 映像作品の場合 ・5 分以内に編集した作品であること。 ・作品に関する資料を添付することができます。 ・機材等は各自で準備し、上映できる状態に設置すること。 版画作品の場合 ・額装、パネル張り等をするなどして壁に立てかけられる形状にすること。 *その他の形状の作品については希望する研究指導教員に事前相談すること。 ②作品ファイル *過去 4 年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。 提出場所：油画アトリエ指定場所
彫刻		提出物：①作品 3 点 *過去 3 年以内に制作した作品であること。 *作品を提出する場合の重量制限は 1 点につき 1 トン以内とすること。 *映像・デジタルデータにて提出する場合は 10 分以内のものとする。なお、ビデオ・モニター・パソコン等は各自で準備し、上映できる状態に設置すること。 ②作品ファイル *サイズは A4 以上とする。 *過去 4 年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。 提出場所：彫刻会議室
デザイン		提出物：①作品（作品に代え修士論文等を提出した者は不要） ア 修士課程修了者及び修了見込み者 ・修士作品及び 2 年以内の作品、3 点以上（シリーズは 1 点と換算）。 イ 上記以外の者 ・2 年以内の作品、3 点以上（シリーズは 1 点と換算）。 ②作品ファイル *A4 サイズファイルにまとめたもの。 *過去 4 年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。 提出場所：デザイン棟 2F 指定場所

陶磁	平成 24 年 2 月 17 日 (金) (9:00~16:00)	<p>提出物：①陶磁器作品 3~4 点 *過去 2 年以内に制作した作品であること (シリーズは 1 点と換算)。 *縦約 100 cm×横約 100 cm×高さ 100 cm以内の作品</p> <p>②作品ファイル *サイズは A4 以上とする。 *過去 4 年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。</p> <p>提出場所：陶磁棟 2F 講義室</p>
----	---	--

- *提出作品には綴じ込みの提出作品貼付用紙を貼ってください。
- *安全管理及び保健衛生上、支障のある作品は受理しません。
- *作品の搬出は、2 月 19 日 (日) 又は 2 月 20 日 (月) (予備日) の口頭試問終了後とします。
- *作品及び作品ファイルの搬入及び搬出は、上記に指定した日時に、必ず本人が行ってください。
(ただし、運送業者を利用する等、特別な措置を必要とする場合は、必ず事前に希望する研究指導教員に相談してください。)

(2) 試験日程及び試験場

試験日程 平成 24 年 2 月 18 日 (土)、19 日 (日)、20 日 (月) (口頭試問予備日)

試験場 本学

2 月 18 日 (土) (10:00~11:30)	小論文 (創作研究系) または 語学試験 (理論研究系)
2 月 19 日 (日) (個別に指定された時間※)	提出作品、提出論文、研究計画等に関する口頭試問
2 月 20 日 (月)	口頭試問予備日

※後日指定します。

9 選 抜 方 法

入学者の選抜は、次のとおり行います。

○創作研究系 (日本画、油画、彫刻、デザイン、陶磁)

提出作品・作品ファイル、小論文及び口頭試問の評価に加え出願書類を総合して行う。

○理論研究系 (芸術学)

提出論文、語学試験及び口頭試問の評価に加え出願書類を総合して行う。

10 合 格 発 表

(1) 日 時 平成 24 年 2 月 24 日 (金) 午前 11 時

(2) 場 所 本学 管理棟で掲示します。

※ 合格者には、入学許可通知書及び入学手続要領を郵送します。

※ 本学ホームページにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが入学許可通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしませんので、ご了承ください。電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

ホームページアドレス <http://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

11 入 学 手 続

(1) 手続日

平成 24 年 3 月 27 日 (火) 午前 9 時 30 分~午後 4 時

(2) 場 所

本学管理棟

(3) 納入金

入学金 282,000 円

授業料 (前期分) 267,900 円

ア 入学金及び授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。

平成 24 年度入学金及び授業料は、改定されることがあります。

- イ 納付された入学検定料、入学料及び授業料は還付しません。
 - ウ 本学大学院修士課程を修了し、引き続き次年度に博士後期課程に進学する者については入学料は不要です。
 - エ 平成 24 年 4 月 1 日付で出願時の住所に授業料振込依頼書を送付します。
- (4) 入学料振込にあたってのお願い
- ア 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料を納入し、所定の提出書類及び入学料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。
 - イ 入学料の納入は、**金融機関の窓口**から行ってください。ATM からは送金しないでください。
 - ウ 振込金依頼書の「ご依頼人」欄は受験生本人の氏名を記入してください。
 - エ 入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

12 入 試 情 報

(1) 平成 24 年度入試について

① 評価基準及び点数配分

ア 創作研究系（日本画、油画、彫刻、デザイン、陶磁）

試験科目	評価基準	点数
作品等の審査	テーマ性、構想力、独創性、表現力等をみる。	600
小論文	論理的構成力、文章表現力等をみる。	200
口頭試問	研究計画書の内容、研究意欲と適性をみる。	200
合計		1,000

イ 理論研究系（芸術学）

試験科目	評価基準	点数
論文の審査	主題の適性、専門的研究水準、論文構成力をみる。	600
語学試験	専門的読解力、翻訳能力をみる。	200
口頭試問	研究計画書の内容、研究意欲と適性をみる。	200
合計		1,000

② 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、美術研究科博士後期課程入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

- i 開示請求できる範囲 科目別得点、総合得点、総合ランク（A、B、Cの3ランクでAを合格とする。）、順位
- ii 開示請求できる期間 最終合格発表日から1か月間 午前9時から午後5時まで。ただし、土・日曜日、祝祭日など大学事務局が休業となる日は除く。
- iii 開示請求の受付を行う場所 本学管理棟3階 管理課
- iv 開 示 の 方 法 本人部分のみ閲覧。
- v 開示請求に必要な書類 受験票のほか、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参してください。
- vi 開 示 請 求 方 法 受験者本人が、口頭で本学管理課に申し出てください。
- vii そ の 他 電話による問い合わせには応じません。また、郵送による結果の開示は行いません。

13 平成 23 年度入試結果

(1) 入学試験実施状況

博士 後期 課程	研究分野	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者数
	日本画	5	2	2	1	1
	油画		2	2	0	0
	彫刻		0	0	0	0
	デザイン		2	2	0	0
	芸術学		1	1	1	1
	計		7	7	2	2

(2) 試験問題

試験の種別	日本画研究分野 小論文
試験日	平成 23 年 2 月 19 日
時間	90 分
試験問題	1200 字程度で論述しなさい。 「あなたの創作作品において日本画画材の持つ意味を述べなさい。」 配布物：問題用紙、指定原稿用紙 1 枚、草案用紙 1 枚

試験の種別	油画研究分野 小論文
試験日	平成 23 年 2 月 19 日
時間	90 分
試験問題	1200 字程度で論述しなさい。 「21 世紀における絵画の意義とその果たす役割について述べなさい。」 配布物：問題用紙、指定原稿用紙 1 枚、草案用紙 1 枚

試験の種別	彫刻研究分野 小論文
試験日	平成 22 年 2 月 13 日
時間	90 分
試験問題	「アートの新たな役割とは」 配布物：問題用紙、解答用紙 1 枚、草案用紙 2 枚

※ 彫刻研究分野の試験問題は平成 22 年度の出題。

試験の種別	デザイン研究分野 小論文
試験日	平成 23 年 2 月 19 日
時間	90 分
試験問題	1200 字程度で論述しなさい。 「デザインが情報化社会において果たす役割と意義について述べなさい。」 配布物：問題用紙、指定原稿用紙 1 枚、草案用紙 1 枚

試験の種別	芸術学研究分野 語学
試験日	平成 23 年 2 月 19 日
時間	90 分
試験問題	英語の問題文は掲載しない。ドイツ語・フランス語・イタリア語・日本古典語出題なし。

14 美術研究科博士後期課程の概要

(1) 本課程の趣旨

理論的な研究によって裏付けられた高度な表現技術と研究能力を持ち、美術・デザイン分野における指導者となりうる真に自立した研究者及び表現者を養成することを目的とする。

具体的には、次のような専門の人材の養成を図る。

- 優れた芸術的構想力を持ち、高度な表現技術と歴史的・理論的知見を備えた芸術家及び芸術系大学の教員となりうる人材
- 高度のデザイン能力と社会的・理論的知見を備えたデザイン専門家や企業、自治体等のデザイン・企画部門において指導的役割を担うことができる人材
- 新しいメディアやコンセプトによる現代アートの諸分野で高度な表現技術と芸術的構想力を有する新しいタイプの表現者
- 美術史・美術理論の研究者、批評家、学芸員及び美術館・博物館等で専門的な社会教育や文化財保存を担うことができる人材

(2) 教育課程の概要

ア 授業科目

研究指導科目（必修）	理論系共通選択科目（選択必修）
博士総合研究Ⅰ～Ⅲ [研究指導] 【指導教員等の指導による専門的創作研究又は歴史的・理論的研究 1～3年次に履修】	①美学特別研究Ⅰ ②同Ⅱ ③日本美術史特別研究Ⅰ ④同Ⅱ ⑤西洋美術史特別研究Ⅰ ⑥同Ⅱ ⑦現代アート論特別研究Ⅰ ⑧同Ⅱ ⑨美術論特別研究Ⅰ ⑩同Ⅱ ⑪デザイン論特別研究Ⅰ ⑫同Ⅱ 【研究テーマに関連する分野の理論的素養の涵養を目的とする各種美術史、美術論研究。上記12科目から学生の研究テーマに応じて2科目以上選択 1・2年次に履修】
博士理論研究Ⅰ～Ⅱ [研究指導] 【指導教員等の指導による博士論文の作成に必要な高度な理論的研究能力の修得 2～3年次に履修】	

イ 指導体制：指導教員1名及び副指導教員1名以上の複数指導体制

ウ 修了要件：本課程に3年以上在学し、必修科目10単位、選択科目2単位以上、合計12単位以上を修得し、かつ博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

エ 取得学位：博士（美術）

(3) 教員組織の概要

ア 研究指導教員

研究分野	研究指導教員	研究指導内容
日本画	◇教授 松村 公嗣 教授 秦 誠 ☆准教授 岡田 眞治	日本画の創作研究 日本画の創作研究及び模写・保存修復 日本画の創作研究
油画	教授 山本 富章 ◇教授 小林 英樹 教授 寺内 曜子 ☆准教授 倉地 久	絵画表現（油彩画だけでなくアクリル絵具による彩色立体、版画表現等）を基に展示空間へのかかわりを明確にした表現・創作研究 絵画創作・絵画理論に関する研究 現代美術・インスタレーションに関する研究 版画・版表現に関する研究
彫刻	◇教授 今井 瑾郎 教授 土屋 公雄	彫刻全般を中心とした創作研究、特に現代美術に関する研究（彫刻の空間性に力点をおいたインスタレーション、パブリックアート等） 環境芸術・現代美術・空間インスタレーションに関する研究

デザイン	◇教授 長谷 高史 教授 細川 修 教授 中島 聡 ☆准教授 柴崎 幸次	デザイン及びデザイン論に関する研究 プロダクトデザイン・クラフトデザインに関する研究 プロダクトデザイン・ユニバーサルデザイン及びデザイン論に関する研究 メディアデザインに関する研究
陶磁	教授 太田 公典 ☆准教授 長井 千春	陶磁創作及び成形技法・紋様・陶磁史に関する研究 陶磁創作及び陶磁器デザイン・陶磁器デザイン史に関する研究
芸術学	◇教授 森田 義之 ○教授 熊田 由美子 准教授 中 敬夫	西洋美術史に関する研究 日本美術史に関する研究 美学・芸術哲学に関する研究

イ 理論系共通選択科目担当教員

◇教授	小林 英樹	(美術論)
◇教授	長谷 高史	(デザイン論)
教授	中島 聡	(デザイン論)
◇教授	森田 義之	(西洋美術史)
○教授	熊田 由美子	(日本美術史)
准教授	中 敬夫	(美学)
准教授	小西 信之	(現代アート論)

*志望する研究分野については、必ず出願前に希望する研究指導教員と面談し、説明を受けること。

***◇○の教員は、平成24年度入学者の研究指導教員として選択できません。**

*◇平成25年3月退職予定 ○平成26年3月退職予定

*☆の研究指導教員は、平成23年11月現在就任予定の教員（文科省に申請予定）です。

就任が確定次第、愛知県立芸術大学ホームページで適宜公表します。

15 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について

・ 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問合せてください。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- 3 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	平成23年11月25日（金）
申請期限	入学試験出願期間開始日の1週間前まで

・ 入学料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問合せてください。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- 3 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	平成24年3月2日（金）
-------	--------------

・ 授業料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。詳細については、合格者に別途連絡します。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- 3 申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- 4 上記1、2、3以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

・ 問合せ先

学務部学務課 教務・学生支援係 電話 0561-76-2847（直通）

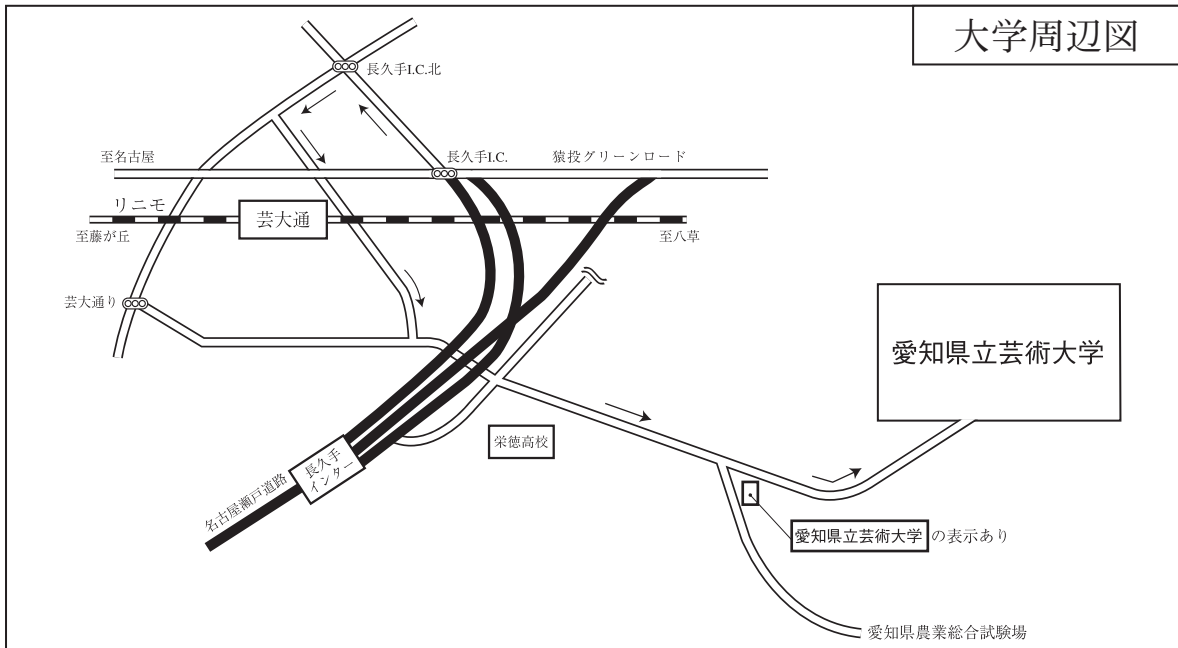
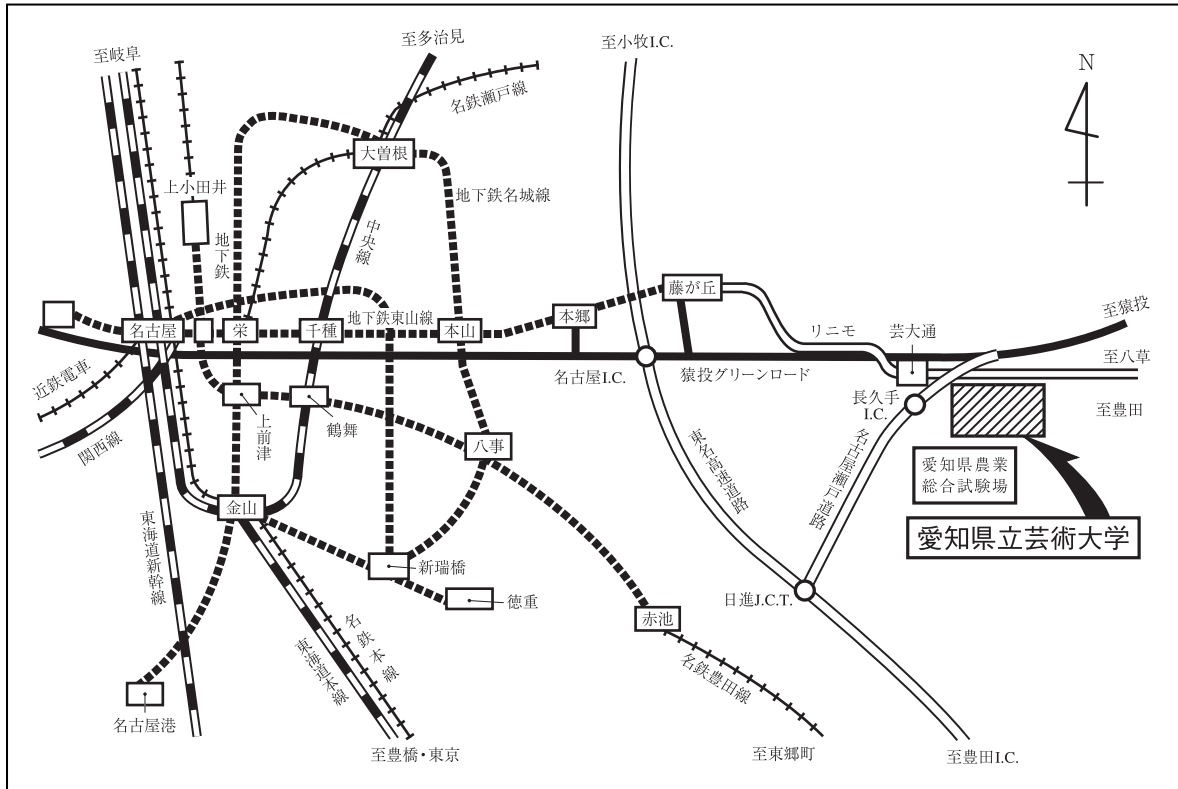
振込にあたってのお願い

- ・ 振込用紙により、全国の金融機関（普通銀行、信託銀行、商工組合中央金庫、信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会及び漁業協同組合の各店舗）の窓口で、お振込みください。ATM（現金自動預払機）は、利用しないでください。
- ・ 振込手数料は、各自ご負担ください。
- ・ 郵便局及びコンビニエンスストアでは、納付できませんのでご了解ください。
- ・ この振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。また、振込依頼書・受取書・検定料納付証明書はミシン線で切り離さないでください。
- ・ 本人確認法(*)の改正により、平成19年1月4日以降、金融機関の窓口で現金で10万円を超える振込を行う場合、本人確認のできる書類（運転免許証、健康保険証など）の提示を求められる場合がありますので、ご注意ください。

(*) 金融機関等による顧客等の本人確認及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律

- ・ 記入例を参考に振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。
- ・ 検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼付けてください。

所在地案内図



■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約15分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。



博士
後期



大学院学生募集要項
美術研究科 博士後期課程

愛知県公立大学法人
愛知県立芸術大学 学務課

〒480-1194

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-114

TEL 0561-76-2603(入試・広報係直通)